

平成 29 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

三重県

行 事 名 称	いつきのみや歴史体験館 防火訓練
実施期間・日時	平成 30 年 1 月 26 日（金） 9：00～9：40
実 施 場 所	いつきのみや歴史体験館
主 催 者	公益財団法人 国史跡斎宮跡保存協会

■実施内容

訓練の想定

いつきのみや歴史体験館 体験室 I から出火し、天井まで延焼している状況からの対処を想定。

訓練の内容

保存協会 対策監を訓練総括者とし、その指示のもとで職員各々の訓練に対する係分けを行い、消防計画に沿った対応が迅速にとれるよう訓練を実施した。時間帯は平常時勤務時に起こった火災を想定し、総合的な防災について、理解を深めることを目的として実施した。

参加者及び役割分担

消防署職員：施設の消火設備、消火器材の正しい使用方法を解説。初期消火の重要性、火災発生時のとるべき行動などを指導。

役場 斎宮跡・文化観光課 職員：施設からの通報を受け、現場に急行、消火活動の支援。

施設職員：① 消火係：火災現場に向かい、消火器による初期消火を行う。

② 通報係：消防署・役場・斎宮歴史博物館・いつきのみや地域交流センターへの連絡を行う。

③ 館内放送係：館内放送により 来館者へ避難指示を行う。

④ 避難誘導係：避難口を示し、誘導する。

⑤ 搬出係：電気の消灯及び重要書類をダンボールに入れ、迅速に搬出する。

⑥ 屋内消火栓、消火器の取り扱い訓練を行う。

消防署 7 名 役場 1 名 管理業者 2 名 体験館 参加者 21 名 計 31 名

特に工夫した点

今年度から通常勤務するスタッフの人数が少なくなったため、最小人数でも対応できる体制で行った。

館内放送は、来館者へ分かりやすいようにゆっくりはっきりと話すように心がけた。

避難誘導の際には大きな声で呼びかけをしてトイレやガイダンスに来館者がいないかしっかり確認した。

問題点・課題

初期消火で消えなかったら慌てずに避難すること。その時に被害が大きくなることを防ぐため、ドアを閉めることを忘れない。

電気ストーブやガスなどは避難の際に忘れずに消しておくこと。

事務所の電気などは火災の場合は消さずにそのまま避難する。（地震の場合は必ず消すこと。）

通報の際は住所と電話番号がすぐに伝えられるように普段からしっかり覚えておく。

その他

今後は地震に対する訓練も行っていきたい。

避難ルートや来館者への対応など日頃から職員で話し合うことが必要である。

訓練風景

